



この本、よかった！ みなさんにもおすすめしたい「くまどく本」を紹介します！

No.143 「わたし、お月さま」
文：青山七恵 絵：刀根里衣 出版社：NHK 出版



はつかみこども園 まつ組
時田 心晴

本の中の絵がとってもきれいです。お月さまが昔会いに来てくれた宇宙飛行士さんを探しに地球へ旅にでるところが好きです。

時田 美奈（母）

くまどくのおかげで、親子で楽しく本を読んでいます。美しい絵と優しい言葉で描かれたこの本は、空からそっと世界を見つめるお月さまの目線で描かれ、読む人にそっと寄り添ってくれる一冊です。

（教育総務課社会教育グループ）

全校遠足～レイクパーク本庄～

熊野第四小学校

5月2日(金)に、全校遠足でレイクパーク本庄へ行きました。

最初に、1年生を迎える会を行い、自己紹介をしたり、1年生へプレゼントを渡したりしました。その後、32の縦割り班に分かれ、出発しました。6年生が1年生の手を引き、たくさん話をしながら行きました。

到着後は、オリエンテーリングをして楽しみました。班員全員で8つのポイントを回りながら、クイズやゲームをしたり、写真を撮ったりしました。どの班も、笑顔いっぱいの活動ぶりでした。オリエンテーリングの後には、お弁当タイムです。班ごとに集まって、おいしくお弁当を食べました。

その後、班で少し遊んで、学校へ帰りました。帰りも、行きと同じように、1年生の手を引き、安全に気をつけて歩く6年生の姿と、帰校後「疲れたけど楽しかった」「1年生と仲良くなった」と言う6年生の笑顔が印象的でした。

ありがとう、6年生。



▲班ごとにオリエンテーリングを楽しむ児童たち
（教育総務課）

第79回 体育祭

熊野中学校

5月30日(金)、第79回体育祭を開催しました。スローガンの「一瞬の全力、一生の思い出」は、体育祭にむけての一瞬一瞬の取り組みを全力で行うことで、一人一人にとって、一生の思い出になるような行事にしたい、という3年生リーダーの思いを形にしました。

今年度は、全校生徒を「青団」「黄団」の2グループに分けて、競技および演技を実施しました。体育祭にむけての準備期間は短かったですが、3年生がリーダーシップをとり、学年の枠組みを越えて練習を重ね、迫力のある競技や見ごたえのある演技を行うことができました。周囲を盛り上げる声掛けや、選手の頑張りをたたえる温かい拍手、自分に与えられた役割を、責任をもってやり遂げる姿などを、保護者や地域の人に見ていただくことができました。

今回の体育祭における取り組みの成功を糧に、今後の活動も、積極的かつ意欲的に取り組んでいきますので、ご期待ください。



▲「1位でゴール！」黄団アンカーと大盛り上がりの生徒たち
（教育総務課）

STOP9 わが家の「ケータイルール」

夜9時以降はテレビゲームやスマホはやめて、十分な睡眠を取りましょう。そして、毎朝欠かさず朝食を食べ、基本的生活習慣を身につけましょう。

この地に (348)

熊野高等学校「遠足」

5月9日(金)、学年別で遠足に行きました。

2・3年生は例年どおり、2年生は安佐動物公園へ、3年生は宮島に行きました。1年生は、昨年度までは備北丘陵公園でしたが、今年度は、天候を考慮して、島根県立しまね海洋館アクアスへ変更しました。各学年、クラスごとの貸し切りバスで現地向かいました。

当日は、あいにくの雨天となりましたが、行き先を変更したおかげで、1年生も1日楽しむことができました。

新年度が始まってから約1か月が経ち、そろそろクラス全員の顔と名前が一致してきましたが、まだ話したことのない人もいました。バスでのレクレーションや現地での行動を通して、普段の学校とは違う環境で、教室では見られない新たな一面に出会うこともできました。

これから、中間考査を挟んで、熊高祭へとクラスで取り組む大きな行事が待っています。熊高祭のテーマ「この瞬間を描こう～絆と個性が咲き誇る熊高祭～」に向けて、仲間との絆を深めるよい機会となりました。



▲「ラクダ…！」久しぶりの動物園に大はしゃぎの2年生たち

☎熊野高等学校 ☎854-4155

令和8年二十歳を祝う会実行委員を募集します！

実行委員として、「二十歳を祝う会」を一緒に盛り上げませんか。

- 対①平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの人
②月1回程度の実行委員会に出席できる人
③前日リハーサルおよび当日の式典に出席できる人

▷令和8年二十歳を祝う会の日程など

時令和8年1月11日(日) 所町民会館 ふでりんホール
対平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの人

☎教育総務課社会教育グループ（町民会館内） ☎854-3111 ✉shakai@town.kumano.lg.jp



人権とわたし



「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」受賞作品を紹介！（Part.10）

性別に関する固定概念（ジェンダーバイアス）の解消に向けた県主催の取り組みとして、エソール広島と連携して開催された「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」の受賞作品を紹介します。

風呂よりも
半身浴の
四洗え



【作者のコメント】

夕食後の風景が目には浮かびます。洗い桶に汚れたお皿がそのまま…。誰が誰に言っているのでしょうか。妻が夫に？夫が妻に？親が子どもに？

家事分担を考える時代だからこそ、「そのうち誰かがやってくれる」ではなく、自分事にしたいですね。

出典：もやもや解消読本
（広島県環境県民局わたらしい生き方応援課発行）

（生活環境課）

いじめ、虐待、子育てなど、こどもの人権については『子どもの人権110番』へ
☎0120-007-110（祝日を除く月～金曜日 8:30～17:15）

広島法務局・広島県人権擁護委員連合会

子どもは地域で守る!! 『子ども110番の家』にご協力ください

☎青少年育成くまの町民会議事務局
教育総務課社会教育グループ ☎854-3111